

目次

概観－使命とねらい
安全衛生に係る欧州(地域)戦略と EU-OSHA の戦略
欧州リスク監視活動部門(European Risk Observatory-ERO)
作業環境情報活動部門(Working environment information-WEI)
コミュニケーション、キャンペーン、プロモーション
ネットワーク化及び調整
管理上の支援

概観－使命とねらい

欧州安全衛生機構(EU-OSHA; European Agency for Safety and Health at Work)の 2009 年から 2013 年までの長期戦略であって、従来の 2005 年から 2008 年までの多年次事業計画に置き換わるものである。

本戦略は、2007 年から 2012 年までの労働安全衛生に係る(欧州)地域社会戦略及び EU-OSHA に対する第 2 回目の外部評価による諸勧告を考慮している。

EU-OSHA は、安全衛生関係者のための情報の収集、解析及び普及について所管している欧州連合(EU)の組織である。

EU-OSHA の目指すところは、安全衛生に関するすぐれた情報及び欧州の事業場の安全衛生と生産性を向上するという欧州の目標を支援し、予防的文化を推進するための欧州の拠点となることである。

2009 年から 2013 年までの本戦略の6つの目標は、

- 安全衛生リスクとそれらの予防についての認識を向上させること;
- 安全衛生に関する優れた実施事例の収集と普及;
- 予防活動を促進するための新たな安全衛生リスクの予測;
- 安全衛生情報の共有と研究に関する各国間の協力の促進;
- 域内外の人材の有効活用のためのネットワークの構築
- 社会及び環境に係る責任に関する主導的モデルとなることである。

上記目標に向けて、EU-OSHA は;

- ヨーロッパにおける安全衛生に対する共通のアプローチを創造し;
- 関係者のニーズに有効な対応を行い;
- 信頼性、透明性を有しつつ、正確かつ公正な情報を提供し;
- 政労使の三者構成により;

- 協力とネットワークに基づき運営することを目指している。

EU-OSHA の目的については、相互に密接に関連している5つの分野において定められている。活動の中心である欧州キャンペーンは、異なった時点における使命に関連したすべての分野を包含している。欧州リスク監視活動部門においては、キャンペーンテーマに関連する事項を明らかにする。作業環境情報活動部門のもとでは、テーマに関連するリスクを予防するための好事例を確認し、分析する。

安全衛生に係る欧州(地域)戦略と EU-OSHA の戦略

安全衛生に係る欧州戦略においては、多くの特定の任務について、EU-OSHA の重要な役割が示されている。

任務1:安全衛生意識の向上、安全衛生に関する成功事例の普及等の EU-OSHA の活動は、特に高リスク分野と中小企業に向けられるべきものとする。

そして

任務2:EU-OSHA は、特に中小企業向けの業種別の安全衛生意識向上のためのキャンペーンを推進する。

EU-OSHA は、各種キャンペーン(例えば、若年労働者に対するキャンペーン、筋骨格系障害予防、リスクアセスメントなど)が中小企業に浸透するように、欧州企業ネットワーク(従前の欧州情報センター)及び様々なコミュニケーションパートナー(欧州域内研究機関、専門職業連合体、労働組合、非政府組織、多国籍企業)と協力関係を持っている。

従前の作業から継続して、中小企業と高リスク業種に焦点をおいた知識開発活動を展開している。これらの活動には、災害多発業種で中小企業が多い道路運送業の好事例の確認、収集と普及がある。また、活動には、中小企業の経済的動機付けを意図したものもある。

EU-OSHA は、また、中小企業向けとキャンペーン用に業種別のチェックリストを作成することを計画している。例えばリスクアセスメントキャンペーンでは、OSHMS の活用を推進するべく、中小企業用のデータベース(チェックリスト、手引書、対話型ツール等を含む)を開発することとしている。リスクアセスメントキャンペーンの2年目には、特定の業種を対象にして第1年目に収集した好事例を普及するための活動を計画している。

第2年目には、第1年目の広範な意識向上活動に引き続いて、EU-OSHA 及びそのネットワークは高リスク業種と中小企業を重点に展開することとなる。

任務3:EU-OSHA は、欧州リスク監視活動部門(ERO)を通じて、女性、若年及び高齢労働者が大量・広範囲に市場参入することによって引き起こされる特定の課題を検討し、報告書を作成する。この報告書は、新たなリスクとその傾向を明確にし、モニターすることに役立ち、必須の対策を確認することに役立つ。

EU-OSHA は、すでにこの任務に関連した作業を遂行してきている。この作業を補完するため、安全衛生に関して女性の参加促進のための新たな活動計画を作成することとしている。様々なグループから収集したデータに係る概要報告を作成することとしている。

任務4:EU-OSHA は、安全衛生に関する事項が、各国の職業訓練に、どの程度取り入れられて

いるかを検討する。

EU-OSHA は、第三者に対する安全衛生教育をメインとする作業環境情報活動の分野における作業を実施することを計画している。

任務5: EU-OSHA は、本戦略と地域社会の公衆衛生プログラムと連携して、労働衛生推進キャンペーンのための情報の収集と普及を行う。

EU-OSHA は、作業環境情報活動部門において、欧州域内の活動を支援するために、計画期間中、労働衛生推進に関する好事例を収集することとしている。これらの情報は、コミュニケーション、キャンペーン及び啓発分野のもとで普及が図られる。

任務6: EU-OSHA は、各国の国立安全衛生研究機関が共同の優先順位を設定し、情報交換を行うことの要請等を行う。

EU-OSHA は、欧州レベルにおける安全衛生研究の一層の調整を推進することを目指す新たな安全衛生時代のプロジェクトにおける積極的なパートナーであり続ける。さらに、特定の分野またはグループにおける技術革新から発生する新たなリスクに重点をおいて調査研究を実施していく。

任務7: リスク監視活動部門は、新たな技術、生物学的ハザード、複雑な人間—機械系及び人口動向に関連するリスク予測を促進する。

EU-OSHA は、すでにこれらのリスクについての作業を開始している。さらに、特定の分野またはグループにおける技術革新から発生する新たなリスクに重点をおいて調査研究を実施していく。

欧州リスク監視活動部門(ERO)

本戦略の期間中(2009年～13年)に、新たに出現するリスクについての中期的(約10年間)な大規模予測研究を実施する。

リスク監視活動部門は、産業構造の変化、危険有害物質への暴露の変化、若年労働者や季節労働者等の弱者グループ、疾病の業務関連要素に関連したリスクについて解析を実施する。

このような研究結果等については関係者の討議・検討に付す。このためにビルバオにおいて定期的に会議、研修会等を開催する。また、安全衛生及び心理的リスクのマネジメントを行うための企業の能力向上のための企業調査を実施する。

安全衛生の研究の今後の必要性についてのインターネットベースの早期予想システムを構築し、研究と成果についての概況を随時発表する。各国の安全衛生研究機関に、多国間研究への協力を要請する。

多分野に渡る研究に焦点をあてた研究セミナーを継続的に行う、そして、生物学的リスクについての討議集会を開催する。

作業環境情報活動部門(WEI)

作業環境情報活動部門は、2009年に2010-2011年のキャンペーンに向けて技術情報、好事例を収集する。

2010年に2012-2013年のキャンペーンのための資料の種類等を関係者との協議のうえ決定する。好事例の繰り返し収集を開始し、技術資料と好事例をキャンペーンに向けて作成する。

戦略期間中、道路運送に関するプロジェクトを開始する。2008年に収集した好事例情報をもとに

普及用資料を作成し、会議、訓練行事等の機会に配布する。

安全衛生が良好なことによる経済的インセンティブに関して、金融機関向けの情報提供プロジェクトを実施する、そしてこの分野に関心を有する者のネットワークを構築する。

2009 年に、地域社会戦略を支援するための関係者との十分な協議を行い、労働衛生推進プロジェクトを開始する。

地域社会戦略に呼応して、2006 年の欧州週間の一部として、またその後も小規模事業として 2007-2008 年に継続されてきた、安全衛生を学校教育に組み入れるプロジェクトを計画期間中のプロジェクトに格上げして実施する。

さらに、社会的変化及び人口動向に関連した事案についての作業も実施する。このためには、リスク監視活動部門及びユーロファンドなどの主要な情報源との調整が必要となってくる。

コミュニケーション、キャンペーン、プロモーション

キャンペーンの重点は、2008-2009 年にはリスクアセスメントに、2010-2011 年にはメンテナンスに置くこととしている。2012-2013 年のテーマは、2009 年の早い時期に決定する。次の 5 年間は、1 つの大きなテーマ「あなたのための、欧州のための健康的な作業場」のもとにキャンペーンを展開する。

EU-OSHA は、キャンペーンのネットワークの支援を得る努力を続けるとともに、欧州議会との協力を促進することに留意する。さらに欧州連合及び各国において幅広く協力関係を構築し、中小企業への浸透を図る。

企業情報活動の点に関して、安全衛生に係る高品質情報拠点としての地位を確立する。異なった言語による情報伝達の費用効果が高い方法について検討する。また、漫画などの、言語を用いない伝達の方法を開発し、改善する。

高品質な出版物を作成することを継続するとともに、ウェブサイトの情報を量的質的に増やし、利用者数を増やしていく。また、欧州企業ネットワークなどの既存の欧州ネットワーク、展示会、会議等を通じて広報活動を強化する。

ネットワーク化及び調整

EU-OSHA の機構管理に関し、予算及びプログラムの決定に理事会と事務局が緊密に関与する。プログラムを作成し、機関の成果を普及するため、機関活動におけるネットワークの、各国のフォーカルポイントが確実に参加できるようにする。また、情報の収集、普及のための補完的情報の伝達チャンネルを構築する。

欧州ネットワーク化という点に関して、欧州および域内各国において安全衛生を政治的議題に押し上げるというのは、継続的優先事項となっている。国際的には、ILO と WHO との協力を強化する。EU 参加予定国のネットワークのフォーカルポイントへの参加を容易とする。

管理上の支援

実績に関する報告制度を含め、自身の組織に関する社会的責任についてのポリシーを策定する。また、内部監理システムをより機能的に改善する努力を継続する。戦略においては、全体的なねらいを定める一年次作業プログラムにおいて具体的な毎年の任務を明確にする。

年次活動報告(年間の管理計画の報告とともに)において、その実績を報告し、計画期間の終了

時にそれを外部評価に付す。